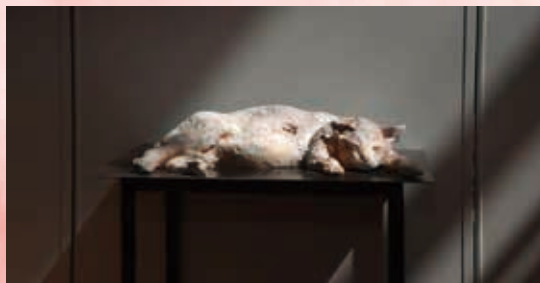




〈絵画〉石川 理恵



〈彫刻〉市村 多眞美



〈絵画〉umi.doodle



〈絵画〉竹内 水凧藻



〈絵画〉小林 優太



〈絵画〉松野 行



〈ソーシャル・プラクティース〉田中 康予



〈写真〉Photographer Mayu



〈焼き絵〉焼き絵師ロッキー



〈刺繍〉もぐさ

# 第2回 「とちぎアーティストバンク」 元気発信 作品展

2026  
2/14 土 9:00~19:00

15 日 9:00~17:00

栃木県総合文化センター  
第1ギャラリー 〈入場無料〉

※どなたでもご自由にお入りいただけます。

「とちぎアーティストバンク」  
元気発信作品展

バンク登録者の活躍の場を拡大し、  
その魅力を発信するために開催する  
作品展です！

出展者はバンク登録者から  
公募で決定しました。

〈主催〉

公益財団法人とちぎ未来づくり財団・栃木県

〈お問い合わせ〉

公益財団法人とちぎ未来づくり財団 文化振興課

〒320-8530 宇都宮市本町1-8 栃木県総合文化センター内  
TEL:028-643-1010(平日8:30~17:15)



# 出展者プロフィール

(五十音順)

## 石川 理恵 Ishikawa Rie [絵 画]



茨城県古河市出身  
2021年 文星芸術大学デザイン専攻 卒業  
2023年 文星芸術大学大学院 博士前期過程 デザイン専攻 修了  
現在 文星芸術大学 デザイン専攻 助手

## 市村 多眞美 Ichimura Tamami [彫 刻]



大田原市在住。  
2011年 女子美術大学大学院修士課程修了。  
2020年 第74回栃木県芸術祭美術展芸術祭賞受賞。  
現在、栃木二紀会会員、栃木彫刻造形協会会員、大田原市芸術文化研究所研究員。  
テラコッタや木を用いて、動物をモチーフとした彫刻作品を制作しています。

## umi.doodle umi [絵 画]



栃木県在住。自然や祈りを主題に、動植物や神話的モチーフを用いた作品を制作。アクリルを基軸に、友禅染めやネイルアートの技法を融合した独自の表現を特徴とする。ゴジラを代表作とする名優宝田明の遺作映画のコンセプトアート担当他、地域協働型アートにも注力。親子2000人との大点描画制作をはじめ、世界遺産・輪王寺や国宝・鎌倉大仏での奉納制作など、文化・教育・地域をつなぐ芸術活動を展開している。

## 小林 優太 Kobayashi Yuuta [絵 画]



宇都宮市出身・在住の画家。  
主にボールペンを使った緻密な表現を得意とし、神獣や幻獣など、人々の心の中に棲む生物や抽象的な作品を描く。精神疾患を持ちながらも積極的に活動し、国内外で作品が評価され、個展の開催や寺社や企業とのコラボレーションを行い、多くの作品を世に送り出している。

## 竹内 水風藻 Takeuchi Minamo [絵 画]



福島県出身。栃木県在住。2012年文星芸術大学日本画専攻卒業。日本画的な線や和紙や墨を生かした作品から水彩画、アクリル絵の具による壁画など幅広く制作しています。以前は身近な人の死をきっかけに「死」を理解することをテーマに作品を制作していました。今後は、子供や魚、植物をモチーフに生命や記憶などを描いていきたいと思っています。

### とちぎアーティストバンク

栃木県にゆかりのあるアーティストの情報を収集・公開しているサイトで、2022年5月に開設しました。アーティストと県内文化施設や事業者等をつなぎ、アーティストの活動の場を広げ、地域の文化活動を活性化することを目的としています。

バンクHPはこちら▼

## 田中 康予 Tanaka Yasuyo [ソーシャル・プラクティース]



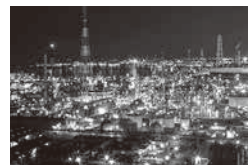
栃木県出身。創作活動の原点、それは 自分 の存在意味を探りあてる事であり、自分と他者を理解する事である。1962年、埼玉県川口市生まれ、栃木県矢板市育ち。1980年から東京で、ファッションと実験映画を学ぶ。1994年にニューヨークに移住し、版画と製本を学ぶ。2011年の福島原発事故以降、社会や環境問題をテーマに作品を制作発表。地域のコミュニティとの参加型のアート活動、ソーシャル・プラクティースを米国と日本を中心に実践している。とちぎ未来大使。

## 松野 行 Matsuno Kou [絵 画]



1958年宇都宮市生、矢板市在住、日野耕之祐に師事、'80北関東美術展、'83日展(入選者の最年少)('12、'15特選)、上野の森美術館大賞展(入選23回、賞候補12回、'01優秀賞)、公募団体ベストセレクトション美術2012(東京都美術館)、'13うつのみや市民賞、'14栃木県芸術祭美術展審査員('24運営委員)、'19日展審査員('24にも)、'24日展の美(河口湖美術館)、個展47回、現在:日展会員、日洋会理事・事務局長、栃木県新作家集団会員、スケッチ研究会主宰、栃木県青年会館・コミュニティカレッジ講師

## Photographer Mayu Mayu [写 真]



宇都宮市生まれ・在住。得意分野は夜景。都市の光と影をクールに切り取る一方、風景や動物写真では柔らかな光と色彩で自然の美しさを表現するフォトグラファー。詩的な視点と確かな技術を融合させ、ジャンルを越えて新しい表現を追求し続けている。  
・環境省 大阪府後援 公益財団法人どうぶつ基金 主催フォトコン「大阪府知事賞」  
・TOKYO BLUE GARDEN フォトコン 2024「冬青賞」  
・第6回 いばらき建設フォトコン「特選」など

## もぐさ Mogusa [刺 繍]



栃木県在住。安曇野涼風扇子展準大賞受賞。宇都宮市美術館「第5回 宇都宮美術の現在展」出展。  
日光二荒山神社神楽殿天井画制作。刺繍作品展「biotops」開催。「共存」と「衣食住」をテーマにイラストや刺繍作品を制作。

## 焼き絵師ロッキー Yakieshi Rocky [焼き絵]



栃木県在住。  
2023年 東京都大田区から栃木県栃木市出流町に移住  
2024年 栃木市出流町に【出流美術館】設立(現在に至る)  
2011年 『第六回国際書画大賞展』秀作賞受賞  
2013年 銀座画廊主催「美の起原展」金賞

※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございます。HP等で最新情報をご確認の上、ご来場ください。

## 会場のご案内

栃木県総合文化センター 〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8 代表 ☎028(643)1000

交通アクセス ※会場には駐車場がございません。周辺の有料駐車場等をご利用ください。

- JR宇都宮駅西口から

  - ・タクシーで約5分(約1,600m)
  - ・バスで「県庁前」下車後、徒歩で約3分
  - ※西口バス乗り場①②⑥⑦⑪⑫⑬等から(関東バス)作新学院、戸祭、江曽島行きなど
- 東武宇都宮駅から

  - 徒歩で約10分(約700m)
- 東北自動車道

  - 鹿沼I.C.から約10km 約25分

